



教科名：**EV基礎教育**

2023年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時期： 2年 D巡

科目： 自動車整備作業

時限数： 20時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY18	シラバスメンテナンス	1/26	高橋
FY19	授業時数変更のため	2/17	菊池
FY20	シラバスメンテナンス	3/10	高橋
FY21			
FY22	シラバスメンテナンス	3/1	森田
FY23			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科 2023年度

授業計画

時期	2年D巡	単元	実習	教科名	EV基礎教育	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	EV(電気自動車)基礎教育テキスト		発行日	2020/2/17新規
※ 注1	総時限		20時限	低圧電気取扱テキスト		
※ 注2	授業時間		32時間	応急手当講習テキスト		教科担当
					見谷 哲	※ 注2 ● ■

一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1905.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1850時間（50分ベ-

1. 指導教員の実務経験 該当 非該当

自動車整備士としてEV整備の実務経験及びトレーナーに認定された教員により、電気自動車について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①低電圧取扱の基礎知識について理解する。
- ②EV（リーフ）に関する基礎知識を習得する。
- ③強電遮断作業の手順の理解する。
- ④心肺蘇生、AEDの取り扱いについて理解する。
- ⑤「EV基礎教育」（低圧電気取り扱いに係る特別教育）について修了する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）

- ①低電圧取り扱いの基礎知識を理解できる。
- ②EV（リーフ）に関する基礎知識・構造・機能・作動を理解できる。
- ③強電遮断作業を正しい手順で安全に実施できる。
- ④心肺蘇生、AEDの正しい使い方を実践できる。
- ⑤「EV基礎教育」（低圧電気取り扱いに係る特別教育）修了証を取得できる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

実習の評価は、レポート提出後に試験を行い、60点以上（工学科は70点以上）を合格とする

試験内容

試験内容

- | | |
|----------|-------------------|
| 実技試験 70% | 1. 強電遮断作業 |
| 筆記試験 30% | 1. 作業時の安全に関する問題 |
| | 2. 駆動用バッテリーに関する問題 |
| | 3. リーフ全般に関する商品知識 |

EV基礎教育として 25問 80点 20分

低圧電気取り扱いに係る特別教育関係問題

5. 準備学習

初回授業時に配布するEV基礎教育テキストを読んで予習しておくこと。

※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す

※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者

6. 指導目標

1. 低電圧取り扱いの基礎知識を理解させる。
2. EV（リーフ）に関する基礎知識・構造・機能・作動を理解させる。
3. 強電遮断作業を正しい手順で安全に実施させる。
4. 心肺蘇生、AEDの正しい使い方を理解させる。
5. 「EV基礎教育」（低圧電気取り扱いに係る特別教育）修了証を取得させる

